

空き家の状況について（住宅マスタープランより抜粋）

2-4. 住宅事情等

（1）住宅ストックの状況

1) 住宅総数

平成20年の住宅総数は45,930戸で、そのうち居住世帯ありの住宅数は40,870戸（89.0%）となっています。

経年的に見ると、昭和63年以降住宅総数は増加傾向にあり、居住世帯ありの住宅数は約90.0%前後で推移しています。

■住宅総数の推移

単位：戸、%

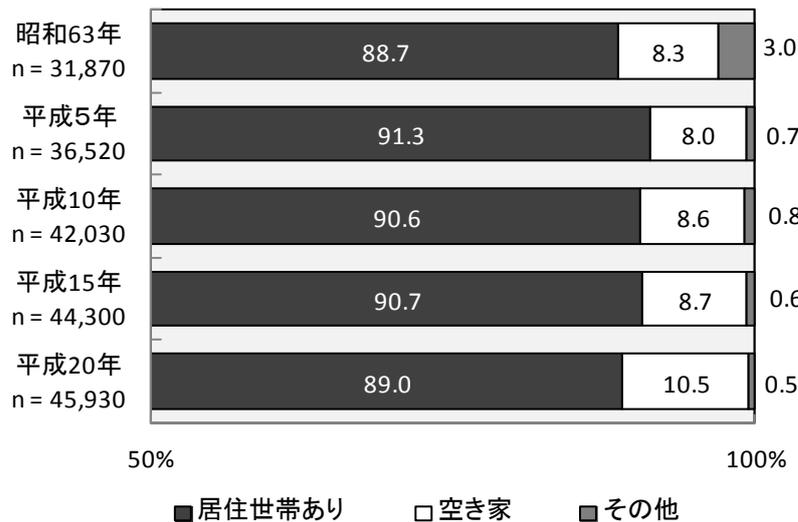
	住宅総数			居住世帯あり			空き家			その他		
	住宅数	割合	前年度比	住宅数	割合	前年度比	住宅数	割合	前年度比	住宅数	割合	前年度比
昭和63年	31,870	100.0	-	28,260	88.7	-	2,630	8.3	-	980	3.0	-
平成5年	36,520	100.0	1.15	33,350	91.3	1.18	2,910	8.0	1.11	250	0.7	0.26
10年	42,030	100.0	1.15	38,060	90.6	1.14	3,630	8.6	1.25	340	0.8	1.36
15年	44,300	100.0	1.05	40,180	90.7	1.06	3,870	8.7	1.07	250	0.6	0.74
20年	45,930	100.0	1.04	40,870	89.0	1.02	4,830	10.5	1.25	240	0.5	0.96

資料）住宅・土地統計調査（各年10月1日現在）

注）「その他」は、一時現在者のみの住宅及び建築中の住宅の合計です。

住宅・土地統計調査は標本調査であり、各数値は推定値であるため、表中の個々の数字の合計が総数と一致しないことがあります。

■住宅ストックの割合



注）nは総数を表します。

2) 空き家の状況

平成 20 年の空き家総数は 4,830 戸となっており、そのうち腐朽・破損ありの空き家は 850 戸（17.6%）、腐朽・破損なしの空き家は 3,980 戸（82.4%）となっています。

空き家の種類別に見ると、別荘等の二次的住宅は 120 戸（2.5%）、賃貸用の住宅は 2,280 戸（47.2%）、売却用の住宅は 220 戸（4.6%）、賃貸用・売却用以外のその他の住宅は 2,190 戸（45.3%）となっています。

空き家の数を経年的に見ると、空き家総数は一貫して増加しており、内訳を見ると、専用住宅の空き家が増加しています。

■空き家の腐朽・破損状況及び空き家の種類

単位：戸、%

	空き家総数		腐朽・破損の状況				空き家の種類								
			腐朽・破損あり		腐朽・破損なし		二次的住宅		賃貸用の住宅		売却用の住宅		その他の住宅		
	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	
総数	4,830	100.0	850	17.6	3,980	82.4	120	2.5	2,280	47.2	220	4.6	2,190	45.3	
一戸建て	総数	1,520	100.0	200	13.2	1,310	86.2	80	5.3	140	9.2	200	13.2	1,100	72.4
	木造	1,440	100.0	200	13.9	1,240	86.1	80	5.6	140	9.7	200	13.9	1,020	70.8
	非木造	80	100.0	-	-	80	100.0	-	-	-	-	-	-	80	100.0
長屋建て・共同住宅・その他	総数	3,310	100.0	640	19.3	2,670	80.7	50	1.5	2,150	65.0	20	0.6	1,090	32.9
	木造	630	100.0	310	49.2	320	50.8	10	1.6	520	82.5	-	-	100	15.9
	非木造	2,680	100.0	330	12.3	2,350	87.7	30	1.1	1,620	60.4	20	0.7	1,000	37.3

資料) 住宅・土地統計調査（平成 20 年現在）

注) 住宅・土地統計調査は標本調査であり、各数値は推定値であるため、表中の個々の数字の合計が総数と一致しないことがあります。

■空き家数の推移

単位：戸、%

	総数		専用住宅		店舗その他の併用住宅	
	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合
昭和63年	2,630	100.0	-	-	-	-
平成 5年	2,910	100.0	2,670	91.8	240	8.2
10年	3,630	100.0	3,350	92.3	280	7.7
15年	3,870	100.0	3,730	96.4	140	3.6
20年	4,830	100.0	4,660	96.5	160	3.3